



国土交通省

北陸地方整備局
伏木富山港湾事務所

記者発表資料

配付日時

平成29年2月27日

みなとオアシス登録証を交付します

国土交通省港湾局は、平成29年2月1日、今まで各地方整備局ごとに定めていた「みなとオアシス」の運営要綱を一元化し、一部内容を見直した新たな運営要綱を定め、「みなとオアシス」の新制度をスタートさせました。

北陸地方整備局管内14箇所の既存全「みなとオアシス」は、平成29年2月16日付けで、この新たな運営要綱に基づく「みなとオアシス」に移行することが認められ、北陸地方整備局長から国土交通省港湾局長に登録が変更されました。

富山県内では「みなとオアシス魚津」、「みなとオアシス海王丸パーク」の2施設が登録変更し「みなとオアシス魚津」は2月16日に国土交通省港湾局で登録証の交付を受けましたが、今般「みなとオアシス海王丸パーク」について、3月2日に伏木富山港湾事務所でみなとオアシス登録証交付式を執り行います。なお交付式終了後に、みなとオアシス海王丸パーク、みなとオアシス魚津から取り組みを紹介します。

記

- 1 日 時：平成29年3月2日（木） 14：00～
2 場 所：国土交通省北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所
3階 大会議室
富山市牛島新町11-3

参 考 「みなとオアシス」の新制度について

- <別紙1-1>みなとオアシス海王丸パーク概要
<別紙1-2>みなとオアシス魚津概要
<別紙2> みなとオアシス概要

発表記者クラブ

富山県政記者クラブ

専 門 紙

問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局
伏木富山港湾事務所

副所長 のがみ あきら
野上 亮
総務課長 はな まさあき
端 政明

TEL 076-441-1901

FAX 076-443-1408

「みなとオアシス」の新制度について

背 景

- 「みなとオアシス」は、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設。
- 平成15年以降認定され、現在全国92カ所でそれぞれの地域の活性化に寄与。
- 近年、急増する訪日クルーズ旅客の受入れ、防災拠点など新たなニーズへの対応が期待。また、昨年7月の港湾法改正で港湾協力団体の制度が創設されるなど制度面の整備も進捗。

経 緯

- 「みなとオアシス」を拠点とした地域活性化検討委員会」を平成28年6月28日に設置し、制度の見直しを検討開始。
- 平成29年2月1日、新制度による「みなとオアシス運営要綱」を策定・配布。

新制度（主な変更点）

- 「みなとオアシス」の機能の追加
地域住民、観光客の交流・休憩機能に加え、クルーズ旅客の休憩・交流機能、災害支援機能を追加。
 - 「みなとオアシス」の運営体制の強化
港湾協力団体^注の積極的な活用
- 注) 港湾協力団体制度とは
官民連携による港湾の管理を促進するため、港湾管理者が適正な民間団体等を港湾協力団体に指定する制度。平成28年7月改正港湾法の施行に伴い創設。
- 「みなとオアシス」の広報の強化
みなとオアシスを代表する施設を明示し、みなとオアシス標章の掲示。
 - 「みなとオアシス」の登録の一元化
地方整備局長等から港湾局長に変更。



みなとオアシス標章



みなとオアシス海王丸パーク

設置者：公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団
認定：平成19年3月（港湾局長登録 H29.2）
場所：富山県射水市（伏木富山港 新湊地区）

おしゃれなベ이스ポットエリア

- ・みなとオアシス海王丸パークは、帆船海王丸を中心とした海王丸パークを中核施設としています。
- ・帆船海王丸では、年間約10回の総帆展帆（そうはんでんぱん）のほか、満船飾（まんせんしょく）や登檣礼（とうしょうらい）を行います。海王丸パークでは、季節毎のイベントを実施するほか、市民によるイベントも開催されます。
- ・また、隣接する富山新港臨海野鳥園では、野鳥の自然な姿を楽しむことができます。

【みなとオアシス海王丸パークの施設と賑わい】

帆船海王丸



帆船海王丸は、商船学校の練習船として建造され、平成元年に現役引退しました。平成2年4月から、富山新港において一般公開されています。船体整備期間を除いて毎日イルミネーションが行なわれ、多くの人で賑います。

日本海交流センター

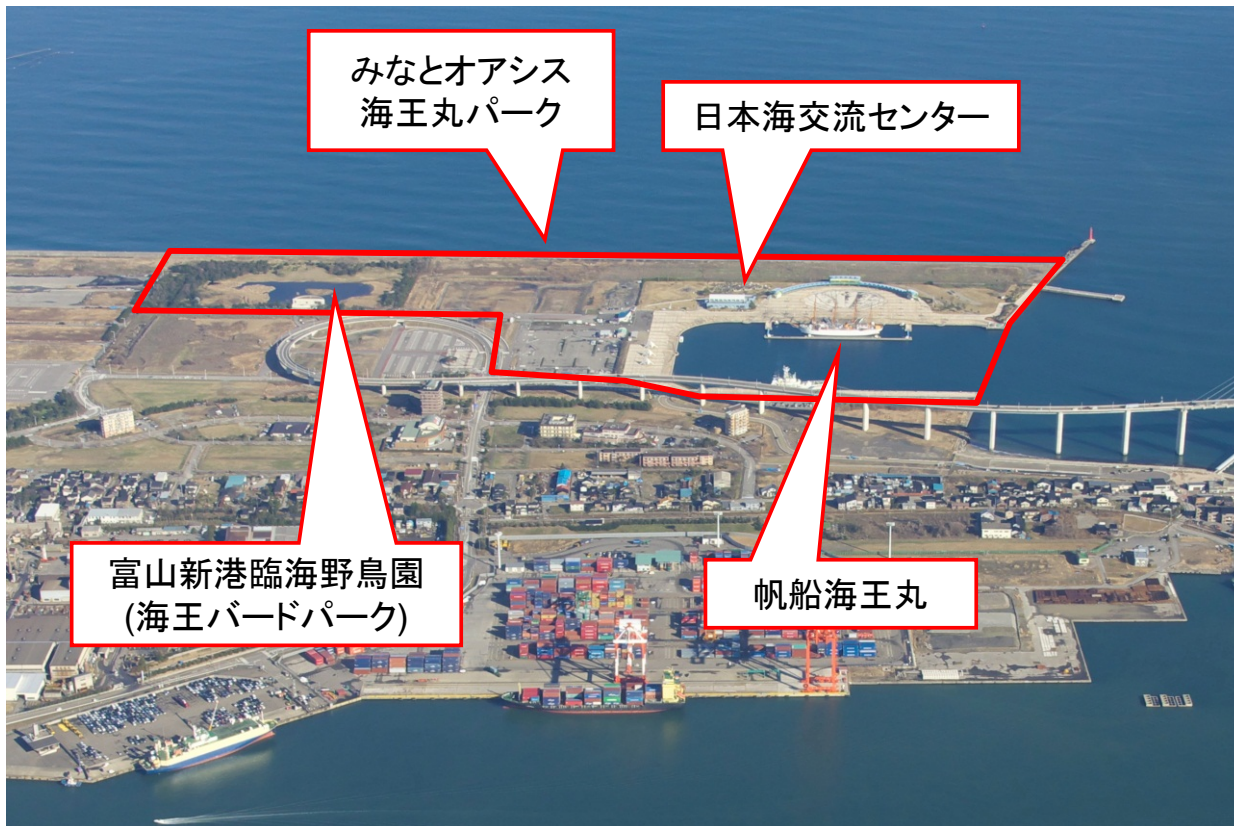


世界で活躍する代表的な帆船の模型を展示しているほか、海と船、さらには伏木富山港等に関する資料を数多く展示しています。（入館無料）

ファミリーフェスティバル



年間に約100万人が来訪する県内有数の観光施設となっています。ファミリーフェスティバルやフリーマーケットなど、季節毎に多くのイベントが実施されます。





みなとオアシス魚津

設置者：魚津市

運営者：(株)魚津シーサイドプラザ

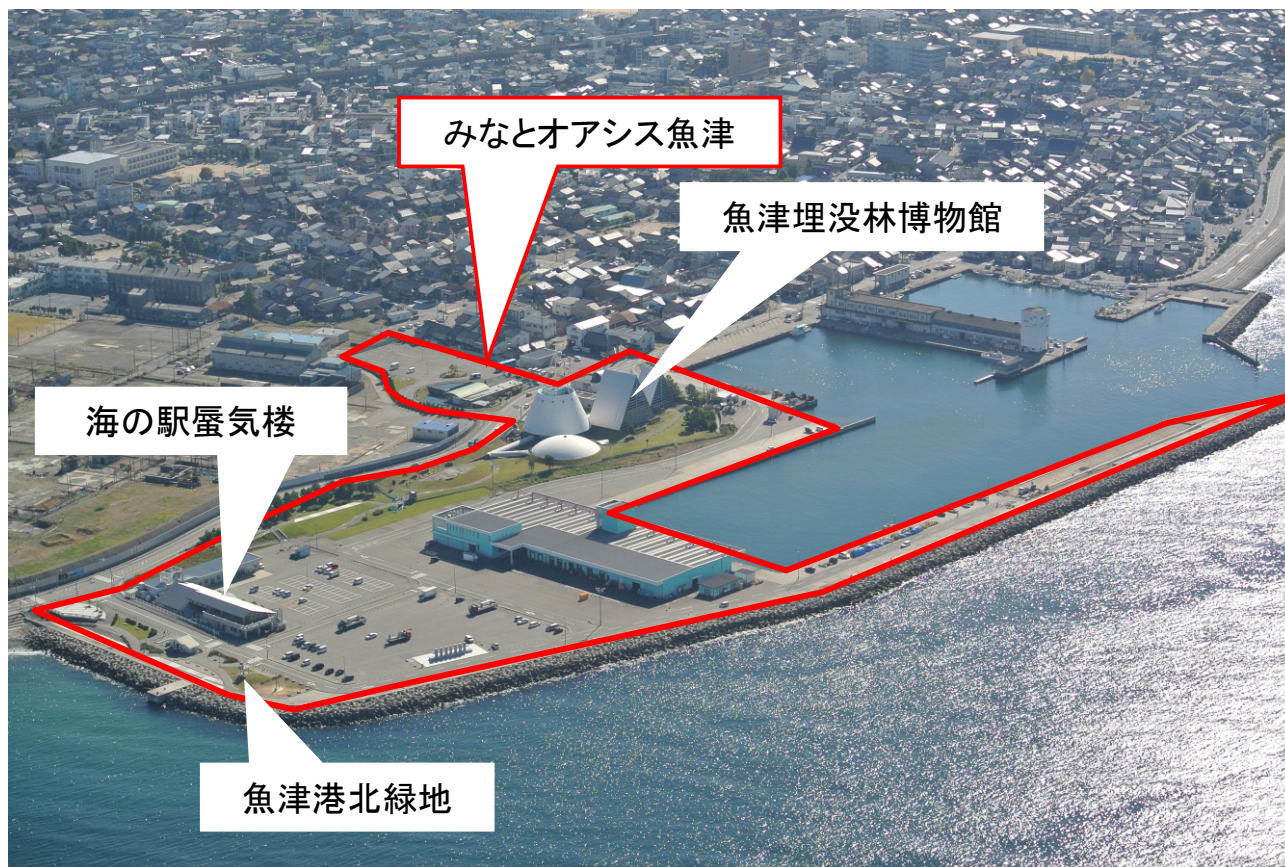
認定：平成19年3月(港湾局長登録 H29.2)

場所：富山県魚津市(魚津港)

<別紙1-2>

「蜃気楼の見える街」魚津

- ・みなとオアシス魚津は、「蜃気楼」「埋没林」「ホタルイカ」の三大奇観を有する富山県魚津市の魚津港に隣接し、蜃気楼展望地には蜃気楼を見ようと県内外から大勢の方が訪れます。
- ・海の駅蜃気楼では、地元の特産品が勢揃いの魚津の朝市などが開催され多くの人で賑わいます。埋没林博物館では、特別天然記念物「埋没林」の保存・展示や迫力ある映像で「蜃気楼」の上映をしており、魚津市の自然や富山湾の神秘に触れられる見所いっぱいのエリアです。



【みなとオアシス魚津の施設と賑わい】

海の駅蜃気楼



旬の鮮魚販売コーナーや食事処をはじめ、毎月第2・第4日曜日に開催される朝市や、毎週土日に営業される浜焼きコーナーでは、魚津の美味を堪能することができます。

魚津埋没林博物館



富山湾のふしぎ「埋没林」の展示や「蜃気楼」を大画面で上映しています。より印象的に、より分かりやすく見ていただくため、平成27年3月20日にリニューアルオープンしました。

富山湾の神秘 蜃気楼



海の駅蜃気楼横の北緑地広場にはベンチやあずま屋があり、ゆっくりとくつろぐことができます。また蜃気楼案内板も設置されており、4月から6月にかけて、ひとめ蜃気楼をみようと大勢の方が訪れます。

「みなとオアシス」の概要

○「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が登録したものをいう。

○今後、災害発生時における防災拠点や、外航クルーズ客に多様なサービスを提供する場としても、「みなとオアシス」の活用を図る。(交通政策基本計画【平成27年2月13日閣議決定】、海洋基本計画【平成25年4月26日閣議決定】)

機能

- 地域住民、観光客、クルーズ旅客等が交流及び休憩できる機能を有していること
- 地域の観光及び交通に関する情報の提供機能を有していること
- その他、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するために必要な機能を有していること

設置者

- 港湾管理者
- 市町村
- NPO団体
- ほか



シンボルマーク 道路標識設置の事例

支援内容

- みなとオアシスのシンボルマークの使用
- 国土交通省・地方整備局等のホームページ等による広報
- 道路地図への掲載や道路標識の設置の支援
- その他みなとの振興に関する各種支援



「みなとオアシス」における地域振興イベント

全国のみなとオアシス

